

# 中小企業発展への提言が結実

公明党 鈴木ひでし

県内の事業所数における中小企業の割合は、約99%。「県の産業や経済の発展はその中小企業の発展なくしてありえない」――常々そう考えてきた私は、中小企業の活性化を一つの大命題と心に決め、活動してきま

した。その中、担当する産業労働常任委員会で、中小企業・小規模企業の活性化に向けた取組推進を提言。それが結実しました。

## 元気にする計画策定

県は昨年10月、小規模企



2003年神奈川県議会議員初当選。公明党神奈川県本部副代表 第109代神奈川県議会副議長

HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>  
FB <https://www.facebook.com/turumi.hideshi.suzuki>

業の持続的発展を始めとした中小企業活性化のため、「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進条例」を施行。それに基づき、「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画」を今年1月にスタートさせました。

私は計画策定にあたり、産業労働常任委員会で、「どうすれば中小企業が元気になるか、成果指針が必要」「中小企業・小規模企業への巡回訪問社数の目標を立てるのであれば、ターゲットを明確にして取り組むべき」と指摘。県はこれを受

け計画に、2020年度までに「黒字企業割合50%」、25年度までに「開業率10%」と成果指標を明示し、巡回訪問については赤字企業を中心するとターゲットを定めました。

これに対し私は、「開業率10%」という目標について、「今、一生懸命働いている方々をどうするかという点から出発するべきで、廃業率にも目配りを」「小規模企業の現場の声を丁寧聞き、具体的な支援情報がかかるように」と、注文をつきました。

さらに、計画に掲げた二つの成果指標達成のため私の提言から具体化した施策としてまいります。

業の持続的発展を始めとした中小企業活性化のため、「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進条例」を施行。それに基づき、「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画」を今年1月にスタートさせました。

これは、企業OBなど財務・経営の知識を持った小規模企業サポーターと、中小企業診断士や税理士など専門知識を有するコーディネーターで構成する「小規模企業応援隊」を設置。各商工会や商工会議所へ派遣し、支援施策の周知や、必要とする企業の掘り起しを行うことで、経営課題解決へ支援するものです。

そのほか、「シルバーベンチャーの創出促進事業」など、皆さまの声をもとに具体化できた施策が、来年度から始まります。今後とも計画達成まで、しっかりと中小企業、小規模企業を応援してまいります。

策の一つが、「小規模企業支援強化事業費補助」です。

これは、企業OBなど財務・経営の知識を持った小規模企業サポーターと、中小企業診断士や税理士など専門知識を有するコーディネーターで構成する「小規模企業応援隊」を設置。各商工会や商工会議所へ派遣し、支援施策の周知や、必要とする企業の掘り起しを行うことで、経営課題解決へ支援するものです。

### 神奈川県商工会連合会

#### 小規模企業応援隊

##### ●小規模企業サポーター

財務・経営の基礎知識を持つOBなど(登録目標人数:100名)

##### ●コーディネーター

中小企業診断士、社会保険労務士、税理士、弁護士など経営等の専門知識を有する者(設置人数:7名)

### 商工会・商工会議所

#### 小規模企業サポーター

- 小規模企業のニーズや課題の収穫・把握
- 支援を必要とする企業の掘り起こし

#### コーディネーター

- 経営改善支援
- 起業・創業支援

#### 施策周知・掘り起し・支援

#### 小規模企業

「小規模事業者持続化補助金経営計画」や「経営革新計画」等の策定促進

専門家支援(販路開拓・事業承継)

### 神奈川県産業振興センター

よろず支援拠点/事業引継ぎ支援センター等

小規模企業の経営改善  
→持続的発展へ